

雲の上のまち



た報

# ゆすばら



町制施行50周年特別町長表彰者の皆さま

栲原町制50周年記念式典開催 <P2>

災害に備えて！ <P5>

よさこい チーム栲原 活動報告 <P6>

民生委員・児童委員・主任児童委員紹介 <P9> etc...

**12** **2016**  
平成28年  
No.702  
**月号**

- 世帯数/1,812 (10月末)  
1,813 (11月末)
- 人口/3,644 (10月末)  
3,636 (11月末)
- 出生… 0 ○死亡… 5
- 転入… 2 ○転出等… 5

# 梶原町制50周年記念式典開催

11月5日(土)、天候にも恵まれたこの日、町制施行50周年記念式典を町内外関係者約250人の出席をいただき開催しました。会場となったゆすはら・夢・未来館では、この50年間に町内で起こった出来事の写真や、10月末に関係者によつて掘り起こされたタイムカプセル(平成3年に和田城落成記念に埋設したものと平成8年に町制施行30周年の際埋設したもの)に納められていた当時の品々の展示を行い、訪れた人々は当時に思いを馳せながら懐かしそうに見入っていました。

式典は、町制が施行されてからのあゆみを映像で紹介した後、吉田尚人副町長が開式のことばを述べ始めました。矢野富夫町長が、「先人たちは、人と人の絆の力で、不利な条件を克服し、梶原というすばらしい地域社会を築いてまいりました。今後も「心は人間の体の中にはない。人と人との間にできる」、このことを、自らかみしめて町内外の皆様方のご提言やご指導をいただきながら、梶原が活力を生み、再び日本の魁となるた

めに、また、多くの方々に感動を与えられる「選ばれた町」となるために、全身全霊を捧げてまいります。」と式辞を述べました。

その後、町行政功労者33名に対し梶原町特別町長表彰が行われました。式典当日出席いただいた29名が壇上に上がり、一人ひとりの名前を読み上げ、長年にわたり梶原町発展のためご貢献いただいたことに感謝し、表彰状と記念品を授与しました。次に町制施行50周年を記念して募集した、ご当地ナンバーの最優秀賞の発表が行われ、「雲の上の町といわれている梶原町、風力発電と豊かで美しい自然をデザインした」という大阪府の佐藤健二氏の作品がお披露目されました。数々の来賓の祝辞をいただいた後、平成3年に埋設したタイムカプセルに納められていた当時の中越準一町長からの祝辞と当時の中越武義助役、山口正郎教育長から現職の吉田副町長、久保教育長にいただいたメッセージをそれぞれ代読により披露し、最後に受賞者を代表し中越計清氏が謝辞を述べ第一部が閉会しました。

第二部は、ゆすはら座において記念コンサートを開催し、ゆすはら未来大使のアカコースティクデュオ「マリオネット」のお二人の演奏とシンガーソングライター「うぐみ」さんの歌唱を中心に、地元のコラスグループや梶原学園の児童生徒の皆さんによる合唱演奏が行われました。松原区の久保谷セラピローロードを舞台に作曲されたマリオネットさんの「せせらぎの小道」やうぐみさんと梶原学園の皆さんのコラボにより作成された「ゆすはら」などが披露され、素晴らしい音色に一人ひとりが思いの梶原の情景を重ねながらご堪能いただいた様子でした。

第三部の祝賀会は、会場を地域活力センターに戻し開催しました。まず、梶原町の魅力を紹介する映像が流され、西川豊正区長会長の挨拶により始まりました。高知県副知事岩城孝章氏等が壇上に上がり鏡開きをした後、高知県議会議長長武石利彦氏が乾杯の発声をする祝賀会会場が一気ににぎやかになりました。梶原町商工会が地元の食材を活かしたおもてなしの料理を参加者に振る舞うと、参加者は思い思いに普段食べる事のない珍しい料理に箸をのばしていました。





# 旭日双光章（建設振興功労）受章

## 杉本 貞雄 氏



平成28年度の秋の叙勲で、建設振興功労者として、前の梶原建設協会会長で、現在一般社団法人高知県建設業協会副会長、建設業災害防止協会高知県支部支部長を務められている梶原町下西の川杉本貞雄氏（70歳）が旭日双光章の栄冠に輝かれました。この受賞は、ご本人やご家族はもとより梶原町にとりましても榮譽なことであり、氏の長年にわたるご活躍とご労苦に対して、深甚の敬意を表しますとともに心からお喜び申し上げます。

氏は、昭和40年3月、地元梶原高等学校普通科を卒業後直ちに父の営む個人営業杉本土建に入り、建設業界での第一歩を踏み出しました。翌41年3月には有限会社への組織変更と共に取締役に就任。日夜工事施工に係る技術、知識の習得に励み、かつ父をよく補佐し、企業人としての素養にも磨きをかけ、メキメキと頭角を現し、昭和61年4月、39歳の若さで父の後を継ぎ代表取締役に就任、持ち前の行動力、指導力をもって業績を年々伸長させ、平成4年8月には株式会社への組織替えを図るなど、着実に社業の隆昌を図り、今や、県中西部を代表する優良かつ有力な建設業者として確固たる地盤を築きました。

### 実績

杉本氏は、明朗闊達で責任感が強く、また、包容力に溢れ義理人情を重んじる人柄から、業界関係者はもとより、地域住民からの信

# 高知県社会福祉大会

## 会長表彰を受賞

長山久美子氏

11月15日（火）、高知県立ふくし交流プラザで、第67回高知県社会福祉大会が開催されました。

この大会では毎年社会福祉に貢献のあった方々を表彰しており、この度、梶原町精神障害者家族会 会長 長山久美子氏（東町）が、社会福祉事業団体部門において大会会長表彰を受賞されました。

長山氏は、昭和57年の精神障害者家族会結成に深く関わり、結成と同時に副会長に就任、その後は会長の要職を務められております。平成6年小規模作業所（現在・梶原竹ぼうきの会）の開所にも家族会会長として、熱心に取り組まれました。これまでの功績が認められ、このたびの受賞となりました。

現在も家族会会長として日々、精神障害者と家族の支援に尽力されておられます。



# 全国民生委員児童委員連合会

## 会長表彰 受賞

西村正義氏

10月20日（木）、西村正義氏（仲洞）が全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞されました。

西村氏は平成10年から現在まで17年という長きにわたり、民生児童委員活動に熱心に取り組み組んでおられその功績が評価されたものです。



# 災害に備えて！



## トリアージ訓練を実施

11月20日(日)、南海トラフ地震や大規模災害を想定し、ゆすはら・夢・未来館で、高知医療センター・D・M・A・Tの協力を得て、トリアージ訓練を実施しました。トリアージ訓練は、梶原町では8年ぶりで大規模災害時における医療救護活動を円滑に行うことを目的として、梶原病院・役場・津野山分署の関係機関が連携して実施しました。



傷病者の状態を判別

訓練では、高知医療センター盛實先生、野島先生から災害医療体制について学び、傷病者の受入れの対応、治療や搬送の優先順位を決めるトリアージの実施を想定し

た訓練を行いました。傷病者が「痛い!」「早う診察して」と押し寄せる中、脈拍を測ったり、状況の把握を行い、トリアージタッグ(傷病者の状態を識別で分かるようにする識別票)を使って実践しながらの訓練を行いました。

災害への対応で重要なのが関係機関や地域住民の方々との連携です。いつ災害が発生しても対応できるように、今後も訓練を継続していきます。

## 東区 豊原で

## 防災植物学習会開催

11月20日(日)、災害による道路の寸断等で孤立し、長期間救助が来ないことを想定し、地域で助け合い命をつなぐため、食えることができる野草を知り、災害発生時に食材として活用できるように、豊原部落で防災植物学習会を行いました。

学習会には、県立牧野植物園解説員 稲垣先生にお越しいただき、集会所周辺を散策し生えている野草の説明を受けながら採取し、調理方法を教えていただき、

実際に食べてみました。野草はアクが強いですが、調理を行えば、美味しく食べる事が出来ます。

稲垣先生からは「普段から食べられる山菜を調理して覚えて欲しい。普段から慣れ親しんでいないと災害時に活用することは難しい。季節により違う種類の植物が生息するので季節ごとの学習が必要ですよ。」というお話をいただきました。



植物の観察・解説と採集



採取した野草の素揚げ

災害時には、町内の至るところで道路網やライフラインが寸断され、多くの集落が孤立する恐れがあります。もしものときは、地域での助け合いが大切です。防災について何か取り組みを考えてみたい地域の方は、危機管理係までご相談ください。

## もしもの

## 地震への備えを！

熊本地震や鳥取県中部地震では、住宅の倒壊や損傷など、多くの被害が発生しました。

地震発生時に自分や大切な家族を守るために、地震に対して自分の家が安全かどうか耐震診断をしましょう。診断結果によっては耐震改修をする必要があります。特に自宅に被害がなければ、避難生活を送る必要がありません。

昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、耐震診断、耐震改修設計・改修工事を行う方に、診断費用、改修設計・工事費用の一部を補助しています。

また、家の中の家具の固定を行います。詳しくは、総務課危機管理係へご相談ください。

# よさこい チーム 梶原 活動報告

～ 地域の誇りを胸に～



地区競演場連合会地方車奨励賞を受賞

皆様の温かいご支援・ご協力を賜り、第63回よさこい祭りに、14年連続出場を果たすことが出来ました。

今年は、踊り子93名、スタッフ32名、総勢125名が梶原の名のもとに集いました。また、今年も韓国から大学生11名の参加があり、チームを盛り上げていただきました。

チーム梶原は8月10日から11日にかけて演舞を行い、延べ14会場、地区競演場連合会地方車奨励賞を受賞いたしました。

また、今年も8月28日に愛知県名古屋市中区で開催された「にっぽんど真ん中祭り」に、総勢39名で出



名古屋市での演舞

場いたしました。熱気あふれる名古屋市内の4会場で演舞を行いました。

高原まつりや敬老会等でも演舞の機会をいただき、19会場の演舞を行い、多くの皆様から温かい声援を贈っていただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

さまざまな出会いに学び、ふるさと梶原を愛しむ心を積み重ねながら、一步一步取り組んでまいりたいと思います。

# 第63回よさこい祭りに参加して



梶原高校2年生 中越愛来さん

10年間続けてきたよさこい、私にとって最後の本祭が終わりでした！本当にあつという間の2日間、本当に楽しい2日間でした。

1日目の菜園場競演場の終わりに捻挫してしまい、みんなに迷惑かけてしまったことは本当に申し訳ないです、すみませんでした。

後悔していること：それは花メダルがもらえなかったこと、会場全部回れなかったこと、そして12日に踊れなかったこと。でも、みんなで踊ることができて本当に楽しかったです。

一番最後の万々競演場では、涙があふれ、踊りどころではなく

なってしまうたけど、2日間本当に充実した時間を過ごせました。皆さんのおかげで頑張れました。ありがとうございます。

梶原で踊った10年間、本当に本当に楽しかったです。3年間インストラクターもさせてもらいました。何をしたらいいか全然分からなくてたくさん迷惑をかけました。でもインストラクターとしての3年間でよさこいに対する想いが強くなり、よい経験になったと思います。

またよさこいを絶対踊ります。高知県民、梶原町民で良かったと思えました！お世話になりました。

チーム梶原の活動に対し、多大なご支援、ご協力をいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

ありがとうございます。

よさこい祭り実行委員会

## 秋季全国火災予防運動広報

### 及びパレード実施

11月9日（水）、午前8時40分から梶原消防団幹部及び団員・女性消防隊、梶原こども園幼年防火クラブ員・梶原駐在所員・津野山分署職員の総勢90名が北町から総合庁舎まで、「全国一斉秋の火災予防運動」のパレードを行いました。

火の用心の法被を着た梶原こども園幼年防火クラブ員を先頭に、駐在所パトカーと消防車の先導で《火の用心》の音楽に合わせて大きな声で歌い、園児手作りのペットボトルや保護者手作りの大小様々な拍子木を鳴らしながら、商店街を行進しました。

パレード終了後、消防団員と女性消防隊員が消防車両7台に分乗し町内全域への火災予防広報パレードに出発しました。

期間中をはじめ、常に各消防分団では、機械器具の点検や水利の点検を実施し災害に備えています。

火災予防運動期間中、町内での火災発生はありませんでしたが、これからは空気が乾燥し季節

節風も強くなり火災が発生しやすい気象状態となる他、河川の水不足により水利として利用できない事も考えられます。火の取り扱いや後始末には十分注意して火災を起こさない様、お願いします。

平成28年度火災予防標語は「消しましょう、その火その時、その場所です。火の用心にご協力をお願いします。」



大きな声で「火の用心」と呼びかけました



梶原こども園幼年防火クラブ員のパレードの様子

# 川井部落の「おごけ神楽」

11月26日(土)、川井部落集会所で伝統行事の【おごけ神楽】の神事と直会が執り行われまし

た。「おごけ神楽」の始まりは、今から250年以上前から続いているといわれています。宿元である川井部落の中越計清さんによると、代々計清さんの家が世襲的に継承してきているとのこと。 「おごけ」と言うのは、「桶(おけ)」のことであり、昔、地域の女性たちは、麻糸を紡ぐことを生活の中で習慣としていたそう、紡いだ糸は桶の中に収納していたそうです。この生活の中から「おごけ神楽」が生まれたそうです。また、「おごけ神楽」は、地域住民の無病息災と繁栄を祈願する祭典として実施されています。

計清さんの記憶によると、随分前のことであるが、昭和34年に川井部落の立道重(じゅう)さんが104歳で亡くなられ、この重さんが生前、「おごけ神楽」の祭典の際、太鼓の調子に合わせ、この神楽を舞っていたそうです。この祭典は4年に1回、閏年に行

われるということであったが、後に、閏年には途中で4年を3年で調整する年もあることから、オリンピックの年に行うことを地域住民で決めたそうです。

「おごけ神楽」では、女性の神様である七福神の弁財天様を祀っており、神事の時には、直径が約25cm、深さ約30cmの桶に、女性の着物を着付け、桶の中には、藁すぼで包まれたご神体と五色の御幣(川井部落の戸数分)を入れ、祭壇に祀られます。桶



への着付けは、先代から奥様(優子さん)が引き継がれています。掛橋宮司による神事の後、直会が始まりました。計清さんが着物を着付けた桶を小脇に抱え、津野山神楽の「幣舞」と同じ動きで、お調子に合わせて舞って見せました。

今年も、太鼓を叩く方の都合がつかなかったため、神楽保存会の方に協力いただいたそうです。

直会も半ばを過ぎる頃、宿元の計清さんを先頭に神楽の動きに合わせて大人や子どもたちが、祀っていた御幣を1本ずつ手にして、客の間を神楽の調子に合わせて練り歩き、直会は盛り上がっていました。

宿元の家では、ご神体を神棚に祀り、朝、炊いたご飯やお茶を毎日お供えし、感謝の気持ちを込めて、お祀りしているということ。

地域に伝わる神楽(伝統文化)を子どもたちに伝え、絶やさず長く続けていくことは、地域の繁栄に繋がっていくことだと、計清さんは語ってくれました。次回は、4年後の平成32年に行われます。

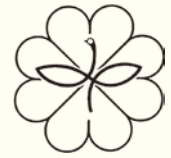
# 平成28年度 手作り太陽光発電事業 (越知面交流センター)

11月27日(日)に環境モデル都市「人・仕組みづくり」プロジェクトの一環として越知面交流センターで越知面区民及び袴原高校生徒たちと手作り太陽光発電機の制作が行われました。

地域住民自らの手で太陽光パネルの制作を行い、完成した太陽光パネルは多目的野外活動施設の屋根に設置され、発電した電気は施設の外灯・非常時の通信機器(携帯電話等)の電源として利用されます(コンセント、USB、シガーソケット対応)。







地域の身近な相談相手  
**民生委員・児童委員と  
 主任児童委員を紹介します**

※12月1日付で、民生委員・児童委員、主任児童委員が変わりました。

民生委員・児童委員は社会奉仕の精神を持って、厚生労働大臣から委嘱された住民ボランティアです。(任期3年)

暮らしのなかで悩みや問題が生じた方に、同じ地域の住民という立場で相談のり、解決する機関へとつなぐパイプ役として活動しています。

また、主任児童委員は、民生委員児童委員の中で、子どもと子育て家庭への支援を専門的に担当する方です。

民生委員には守秘義務が課せられており、相談内容や個人情報を守られます。安心してご相談ください。

保健福祉支援  
 センター福祉係  
 ☎ 65-11170

**民生委員・児童委員**

地区	氏名	住所	電話番号	担当部落
越知面区	竹倉 政恵	上本村	68-0023	横貝、太田戸、上本村、下本村
	中越 泰子	永野	68-0532	井の谷、永野、田野々
四万川区	渡辺 瑞枝	茶や谷	67-0025	下組、東川、上組、中の川、本も谷、茶や谷、富永
	高橋 勝也	文丸	67-0501	井高、坪野田、文丸、神の山、坂本川、六丁、東向
東区	西村 正義	仲洞	65-0521	後別当、大蔵谷、太郎川、神在居、仲洞
	稲垣 眞紀子	川西路	65-0511	東町、中町、北町、南町、西町、川西路
新区	宮岡 恵	飯母	65-0522	飯母、豊原、川井、川口
	川上 芳郎	竹の藪	65-0881	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪
西区	中岡 勝寿	松谷	67-0543	広野、宮野々、上成、松谷
初瀬区	新高橋 正知	下折渡	62-3580	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保
松原区	吉村 津貴子	中平	66-0255	大向、中平
	久岡 健市	松原	66-0173	松原、久保谷、島中

(注意) 今期より、東区の担当部落割り振りが変更となっています。

**主任児童委員**

地区	氏名	住所	電話番号	担当部落
町内全域	森野 晃代	上本村	68-0068	町内全域
	山本 幸代	下西の川	65-1026	町内全域



12月9日、町長より厚生労働大臣・高知県知事からの委嘱状の伝達を受けた民生委員・児童委員 14名

**1月の行事予定**

- 3日(火) 体育始め・成人式
- 10日(火) 梶原学園・梶原高校3学期始業式
- 14日(土) 環境整備デイ
- 18日(水) 行政相談
- 20日(金) 梶原町交通安全の日

# 梶原学園だより VOL.55

## ウエルカムコンサート

### 学習発表会

11月6日(日)、『感謝 ～君に届け！ありったけの「ありがとう」～』のテーマで梶原学園6回目の「ウエルカムコンサート・学習発表会」を開催しました。保護者や日ごろお世話になっていらっしゃる地域の方に感謝の気持ちを込めて、これまでの学習活動や部活動の成果を発表しました。

生徒会中心に制作した今年度のモザイクアートは町政50周年に併せて町の観光名所でもある御幸橋をモチーフに作成しました。

各学年代表1名による人権作文発表では、それぞれが、堂々と自分の意見を述べていました。

海外研修発表では、オーストラリア(2名)・イギリス(5名)の短期留学の研修成果を全て英語で行いました。

9年生による総合的な学習の発表では、和楽器の授業で学習した箏の演奏、そして地元の梶原茶道クラブ・津野山神楽保存会の皆様からご指導いただいた成果を披露することができました。

合唱コンクールでは、各学年が



9年生による箏(そう)の演奏

それぞれ課題曲(「地球の詩」と自由曲(7年「COSMOS」、8年「HEIWAの鐘」、9年「My Own Road ～僕が創る明日～」)を合唱しました。7・8年生は下克上で、9年生は最上級生の意地でそれぞれが最優秀賞を目指して音楽の時間や放課後に練習してきた成果として素晴らしい歌声を会場いっぱい響かせていました。厳選な審査の結果、最優秀賞は9年生でした。交流合唱では5・6年生による「明日へつなぐもの」「勇氣100%」の美しいハーモニーに続き、5年生から9年生までの児童生徒による「ゆすはら」の合唱をしました。

音楽部の演奏では、大ヒット映画「君の名は。」の主題歌「前前

前世」を含む5曲が披露されました。

9年男子による友情出演のパフォーマンスやアンコールもあり、すばらしい演奏に会場も盛り上がりました。また、今年はテレビ高知の番組で歌を披露した林裕輝君の特別歌唱ショーもあり、とても盛り上がったラストになりました。



音楽部の演奏(フルートソロ)



演歌を熱唱する林裕輝君

## 高吾地区小中学校音楽祭

11月11日(金)に、須崎市民文化会館で「第50回高吾地区小中学校音楽発表会」が開催されました。梶原学園からは小学校5・6年生が参加し、「明日へつなぐもの」「勇氣100%」を発表しました。歌詞の言葉一つ一つを大切に歌いまして会場の皆様に伝えてきました。会場中に歌声がひびき、とても気持ちよかったです。



高吾地区音楽会に参加し美しいハーモニーで合唱する5・6年生

### 高知新聞駅伝

10月22日(土)に開催された高吾地区駅伝大会の予選で梶原学園の駅伝チームは5位となり高知新聞への出場権(6位以内)を得ました。

高知新聞駅伝大会は、11月13日(日)に開催されました。梶原学園として2年連続での県大会出場でした。多くの生徒・保護者・教員が応援する中で選手は春野陸上競技場周回コースを力走しました。結果は、参加30チーム中、27位でした。昨年度より少し順位を落としてしまいましたが、選手のみんなが、一生懸命走る姿に感動しました。選手の皆さん、お疲れ様でした。また、応援してくれた皆様、ありがとうございます。



アンカーの6区で最後の頑張りを見せる中越蒼空君(左)

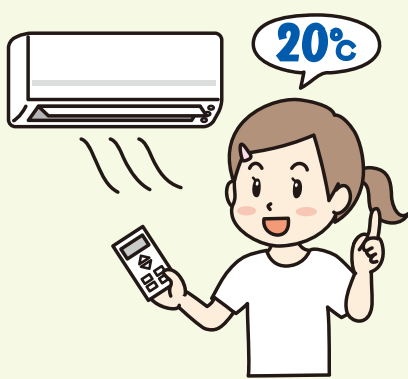
## 冬季の省エネルギー対策について

11月から3月は冬季の省エネキャンペーン

特に心がけていただきたい  
冬季の取り組み

#### 【空調】

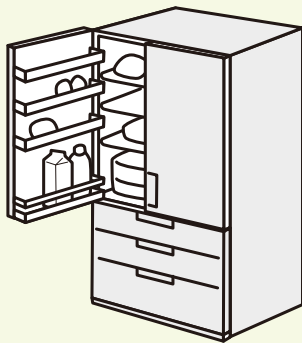
- ▼室温20℃を心がける。
- ▼ガス・石油ファンヒーターを使用する際には、窓を背にして設置する。
- ▼人数に応じた機器を使用する(家族で1部屋に集まっている場合は電気ストーブよりエアコンが効率的。広い部屋で1人を暖める場合には電気ストーブが効率的)



- ▼エアコンやファンヒーターのフィルターは定期的(2週間~1回程度)に掃除する。
- ▼扇風機やサーキュレーターで、部屋上部の暖気を循環させる。
- ▼ドア・窓の開閉を少なくし、カーテンを閉めることで熱を逃がさない。

#### 【冷蔵庫】

- ▼設定温度を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにする。
- ▼放熱の余地を確保するため、壁から離れた適切な間隔で設置する。



#### 【照明】

- ▼熱いものは冷ましてから保存する。
- ▼日中は不要な照明を消す。
- ▼照明器具を購入するときは、省エネ型の電球形蛍光灯ランプやLED電球等を選択する。



#### 【電力消費機器】

- ▼パソコンやテレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、不要な時は消す。
- ▼リモコンの電源でなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。
- ▼洗濯機は、容量の80%程度を目途にまとめて行う。

# 地域で認知症サポート

## 「認知症の人への見守りや支援について」

「認知症」についてテレビなどで見る機会が増えてきています。認知症は高齢化により今後ますます増えると予測されており、医療や介護、地域のサポートがさらに重要になってきます。

認知症は、進行とともに状態が変化する病気であり、その時の状態に応じて適切なサポートを受ける事が大切です。

認知症の人の状態は、適切な医療、そして周囲の支援の仕方によって大きく変化します。医療の診断や治療だけで認知症状の悪化を防ぐことは困難です。認知症の人に必要なのは専門的な支援だけではなく、地域活動などへの参加と地域のさりげない見守りや手助けです。今回は、初期の認知症の人への見守りや支援について紹介させていただきます。

### ■認知症は状態により変化する

認知症は、認知症の疑いから初期、中度、重度に大きく分かれ、状態によってサポート体制なども変わってきます。

### ① 認知症の疑いがある ↓まずは相談

認知症は、早めに気付いて適切な治療を開始できれば、その後の進行を遅らせることも可能です。認知症の疑われる場合はかかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談しましょう。

### ■認知症の症状

認知症の症状には、脳の細胞が壊れることよって起こる症状（中核症状）と、本人の性格や環境、人間関係などの要因によって出てくる症状（行動・心理症状）があります。

### 中核症状

- ・直前のことを忘れる
- ・日にちや時間が分からなくなる
- ・2つ以上のことが重なるとう理解できなくなる
- ・考えるスピードが遅くなる
- ・計画を立て、段取りをすることができなくなる など

### 行動・心理症状（BPSD）

- ・自信を失い、すべてが面倒になる（料理、掃除などの意欲の低下）
- ・将来の希望を失ってうつ状態になる場合も
- ・しまい忘れから物盗られ妄想へ（疑い深くなる、怒りっぽくなる）
- ・徘徊 など

### ② 症状はあっても日常生活は自立している（もの忘れはあるが、金銭管理や買物などの日常生活は自立している）

↓本人の不安を和らげる、居場所や仲間を増やす  
本人は忘れることへの不安によりいらだつことも増えてきます。気持ちや穏やかに保てるように接しましょう。また、不安により家に閉じこもりがちになるので、趣味や地域の活動など安心して過ごせる場所をみつけ積極的に交流しましょう。地域の方の声かけも安心につながります。

### ③ 見守りがあれば日常生活は自立できる（薬の管理ができない、一人での留守番ができないが周囲のサポートがあれば生活できる状態）

↓見守る人を増やす、安全対策を考える（火の始末など）、介護のサポートを検討する

家族だけでなく地域の人や友人などにも理解を求め日常生活の中で積極的に見守ってくれる人を増やしましょう。閉じこもりがちの人には、家に様子を見に行く、会に行く日には声をかけてみるなど声かけや気使いがあると本人も家族も地域で安心して暮らすことができます。

### ■接するときのポイント

- ① 自尊心を傷つけない（否定をすぐにしない）
- ② 驚かせない
- ③ 急がせない（相手の言葉をゆっくり聞き、同時に複数の質問などをしない）

### 地域の見守りや手助けが認知症の人と家族を支えます

あいさつ・声かけなどの見守り・手助けがあれば、認知症の人でも安心して出かけることができます。近所の人にあいさつをする、困っている人がいたら声をかける、相手のペースに合わせるなど、できることから始めてみませんか

### 認知症サポーターになりませんか

認知症の方を温かく見守る応援者になっていただく認知症サポーターを養成しています。認知症について正しく理解し、自分の出来

る範囲で活動していただく方で、何か特別なことをする方ではありません。

今年度は商工会の方を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。参加者からは日ごろから悩んでいること等多くの質問があり、認知症が身近な病気になっていく事、日ごろから認知症の人との関わり方を考え、支援されていることを感じました。

身近に気になる人がいるけど、どのように関わっていけばいいのか分からない方や認知症について学びたい方、ぜひ職場や地域、学校で認知症サポーター養成講座を受講してみませんか。

### ■げらげら家族会

#### (認知症高齢者を介護する家族会)

家族が月1回集まり、情報交換や介護の相談を行っています。日ごろの介護や関わりで困っている方、少し息抜きをしたい方、ぜひご参加ください。参加希望の方は地域包括支援センターまでご連絡ください。

### 【認知症に関する相談窓口】

地域包括支援センター

(梶原町保健福祉センター内)

☎0889-65-1117

### 通知カード・マイナンバーカードは大切に保管してください

昨年度に一人ひとりのマイナンバー(個人番号)を表示した【通知カード】が送付されています。

制度も本格的に運用されるはじめ、勤務先やアルバイト先、市区町村の窓口で行う事務手続きなどにマイナンバーを提示していただくなど、改めてマイナンバーの必要性を感じられていることと思います。

#### ○なくしたときはどうするの？

そんな必要なマイナンバーは【通知カード】もしくは申請によって交付を受ける【マイナンバーカード】で確認します。

万が一紛失したり、焼失・滅失した場合は、住所地の市区町村の窓口で紛失届及び再交付の申請などの手続きをとってください。(梶原町の条例により、再交付手数料が一人500円かかります。)

再交付申請はご本人の手続きによりますが、委任状による手続きも可能です。

通知カード等を紛失しているが、マイナンバーを提示しなければならぬ場合などは、提出先や用途などをお伺いしたうえでマイナンバーを表示した住民票の発行

を受けることも可能です。

#### ○こんな時は

#### 窓口で提示してください

通知カードやマイナンバーカードには住所や氏名、性別など重要な個人情報が記されています。記載された内容に変更があったときは新しい情報を追記します。

そのため、次のような異動があったときは、通知カードやマイナンバーカードをご持参のうえ、窓口へ手続きにお越しください。

- ・ 転入したとき
- ・ 転居したとき
- ・ 婚姻届など戸籍届出による氏名や性別の変更があったとき

紛失届や再交付手続きなど、ご不明な点がありましたらぜひお問い合わせください。

#### 【問合せ】

梶原町役場 総務課 住民係

☎0889-65-1111

### 平成29年1月1日から 土地取引の通知が変わります！

国土利用計画法に基づく審査の結果、勧告を行う必要がないと認められる場合に通知していた不勧告通知が原則廃止されることとなりました。そのため、届出から通

常、約一カ月間を経過した後も何も通知がない場合には、「不勧告(問題なし)」となります。

もし、不勧告通知書の交付を希望される方は、届出書の不勧告通知書の交付欄にて「要」を選択してください。

なお、ご不明な点などございましたら、お問い合わせください。

#### 【問合せ】

梶原町役場 環境整備課 登記係

☎0889-65-1251

### 放送大学4月生募集のお知らせ

放送大学では平成29年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。

放送大学はテレビ、ラジオ、インターネットを通して学ぶ通信制の大学です。

心理・教育・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

出願期間は、第1回が2月28日まで、第2回が3月20日まで。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学高知学習セ

ンター (☎0888184314864)までご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

相続登記はお済みですか月間

相続登記をはじめとして、遺言、遺産分割協議など相続に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行います。

日時 平成29年2月4日(土) 10時～15時

場所 ○高知市ちより街テラス貸会議室4 ○長浜ふれあいセンター ○土佐山公民館

予約 不要

相談例 登記名義人が先々代のままです。パートナーに全財産を相続させたいのですが…。相続人の中には行方不明の人がいて、遺産分割協議ができません。Etc...

【問合せ】

高知県司法書士会 (高知市越前町一丁目6番32号) ☎0888182513143 FAX088182416919 kshihoshokai@nifty.com

12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害啓発週間」です。

北朝鮮人権侵害啓発週間とは

北朝鮮による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ、北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的としています。

北朝鮮当局による拉致容疑事案は、我が国の主権や国民の生命と安全に関わる重大な人権侵害問題です。

○拉致問題のことを知って下さい。○関心を持ってください。それが、この問題を解決するためのとても大切な一歩となります。

最低賃金改正のお知らせ

平成28年10月16日から、高知県最低賃金は1時間715円です。

【問合せ】

労働基準局賃金室 ☎088188516024

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

ふるさとづくり寄付金として

- 二瓶 豊様 (東京都豊島区) 阪下 雅彦様 (神戸市) 砂田 博昭様 (今治市) 近藤 直子様 (大阪府茨木市) 川村 薫様 (埼玉県川越市) 藤田 芳子様 (徳島市) 福田 京様 (神戸市) 隅田 速雄様 (奈良県上牧町) 濱田久美子様 (大阪府高槻市)

広報へのご寄付

- 加藤 朝弘様 (名古屋市) 松本 君恵様 (鬼北町)

その他のご寄付

- 中平 紀善様 (川西路) 故・中平由利子氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ 西村由美子様 (仲間) 故・西村務氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ 寺元さゆみ様 (川西路) 故・廣瀬盛光氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

1月の保健福祉支援センター行事予定

- 5日(木) 松原サテライト 18日(水) 男性のための料理教室・行政相談 (梶原病院3階) 6日(金) 初瀬いきいき 19日(木) 小児健診 12日(木) 越知面デイ友の会 20日(金) 東区いきいき 13日(金) 四万川託老所 27日(金) 四万川いきいき

- 毎週月曜日…予防接種 (不活化ポリオ、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう) ○毎週水曜日…育児サークル (支援センター4F 講義室) ○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…24日(火) ○ゆすっ子相談センター相談日…17日(火) 午後、24日(火) 終日、31日(火) 午後

# 文芸



## 杉の子俳句会

秋の色日ごと濃くなる津野山路

氏原 陽子

甘藷掘って園児は袋を引きずって

大崎みなと

特売の球根植えて冬に入る

西村 幸枝

渋柿も猿軍団にやられけり

野中たねお

シニアカー行きかう歩道草紅葉

影浦 鉄心

霧深し人声高き津野山路

西村 蓉子

秋空にドクターヘリが旋回す

内野 純子

秋晴れやバイク連なる津野山路

下元 廣幸

実南天透かして空の青さかな

久岡 智子

## 柚子の木俳句会

竜胆にしはしの憩い登壇道

広瀬 みえ

晩秋の権言太鼓峰々に

佐竹 重子

携帯の待ち受け変える冬となり

西森 誠子

逆光に輝るもみじ谷幹黒し

西村由利子

ひまわりが季節はずれに咲き揃う

中越 緑

古民家に雪虫飛んで人恋し

中越 郁子

寒月や硯こぼれて香る墨

渡辺 瑞枝

落葉踏む小道のそばに濃りんどう

中越 秋子

りんどうや秘境の溪に凜とあり

広瀬 卓雄

## えぼし俳句会

冬ぬくし蜜をたづねる羽音あり

岩元 芙美

山里の柿色屋根や冬ぬくし

古野 節子

檜落葉風鳴る空へ舞いあがり

下村 弘花

鴟日和紐しめ直す割烹着

下元 澄子

余生だと言いつる背中懐手

ヒネ・バンビ

ネジ外しミシンの手入れ冬ぬくし

宮崎真由子

黄の絵の具使いきつたる大銀杏

宇都宮由利子

稲刈の苦闘を語る轍跡

中越 律子

手をつなぎたくなる小道冬日向

瀬戸口登貴恵

枯蓮や戦に負けし兵のごと

西村 智子

長き夜の絶叫腓返りくる

千光寺昭子

つるりするり胃の腑におちるなめこ汁

岩井 章子

## 川柳

秘書がしたではすまぬ猫糞ア

摩訶不思議ホッポホッポの六年間

身を焼いた真の理由を誰が識る

ゆす原人



下本村地区川上聡さん宅のイルミネーション

### ●おくやみ

住所	氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
川西路	廣瀬 盛光	男	H28.11.3	95	本人
富永	南部 政喜	男	H28.11.6	93	本人
永野	中越寛一郎	男	H28.11.6	90	本人
太田戸	大野 達	女	H28.11.24	98	本人
井高	下元 幸夫	男	H28.11.26	84	本人

### ●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚姻日
後別当 川西路	夫 石河 健雄 妻 神野 理沙	H28.11.1
津野町 神在居	夫 土釜 榎太郎 妻 土梅 知佐	H28.11.13
東南町 南国市	夫 國元 憲法 妻 溝淵 亜沙	H28.11.29

# 梶原こども園だより

## 乳児組 参観日

11月9日(水)は、乳児組の参観日がありました。人の多さに緊張していつもと違う様子の子もいましたが、お父さんお母さんと一緒に過ごすことができて嬉しそうでした。部屋で過ごした後、10時からホールで1時間ほど岡本悦子先生に指導していただき、わらべうたを通じた親子での触れ合い遊びをしました。

部屋ではお家の人に甘えていた子も、わらべうたを通すことで、だんだんと親子の笑顔も増え、賑やかなひと時になりました。触れ合い遊びを通して、スキンシップの大切さを感じさせていただくことができました。

お仕事や家事でお忙しいかと思いますが、子どもたちにとっては大好きなお父さん、お母さんです。少しの時間でもできるスキンシップに大切にかかわってもらいたいですね。



親子でおもちゃ遊び



指導いただいた岡本先生

## 編集後記

今年の夏は、例年の暑さに加え、オリンピックが開催され、日本選手の活躍が伝えられるたびに日本中が熱気に包まれました。

体操男子の団体優勝をはじめ、水泳、柔道、卓球、バドミントン、女子レスリングなど、選手の活躍する姿に感動した人も多かったと思います。

オリンピックの後に、パラリンピックが開催され、障害を持つ選手の日々の努力と明るくたくましく生きる姿に感動し、精一杯生きる大切さを改めて学ぶ機会となりました。

もう一つ印象に残った出来事は、原子力発電所の再稼働問題です。東日本大震災で被災した福島の問題が未解決でありながら再稼働が容認されることとが納得できないのは私だけでしょうか？福島では、今も故郷を追われた生活を強いられているのが現実です。

電力不足で再稼働がやむを得ない状況ではありません。原発事故が発生した場合、原発から発生する高レベル放射性廃棄物の安全な処理など、電力会社単独では対応できない課題ばかりです。「責任を負えない」「責任を取らない」挙げ句の果てに「多額の税金を投入する」という福島の教訓は生かされていないと考えます。

今年も、梶原町でも伊方原発の万一の事故に備えて訓練を実施しました。

自然災害は、人間がコントロールすることができないので、万一に備えて訓練をする意味があります。原発は人工物です。原発を完全に人間がコントロールできる状況とは言えません。万一に備える危険なものが必要なのでしょうか？

万一というのは、起きる可能性がゼロではありません。すでに福島で発生しました。早期に脱原発社会を実現し、安全で安心して暮らせる国づくりを願うばかりです。

広報編集委員

発行所／高知県高岡郡梶原町役場

☎0889-65-1111

URL <http://www.town.yusuhara.kochi.jp/>

発行 兼 編集／梶原町役場 印刷所／南中島出版印刷